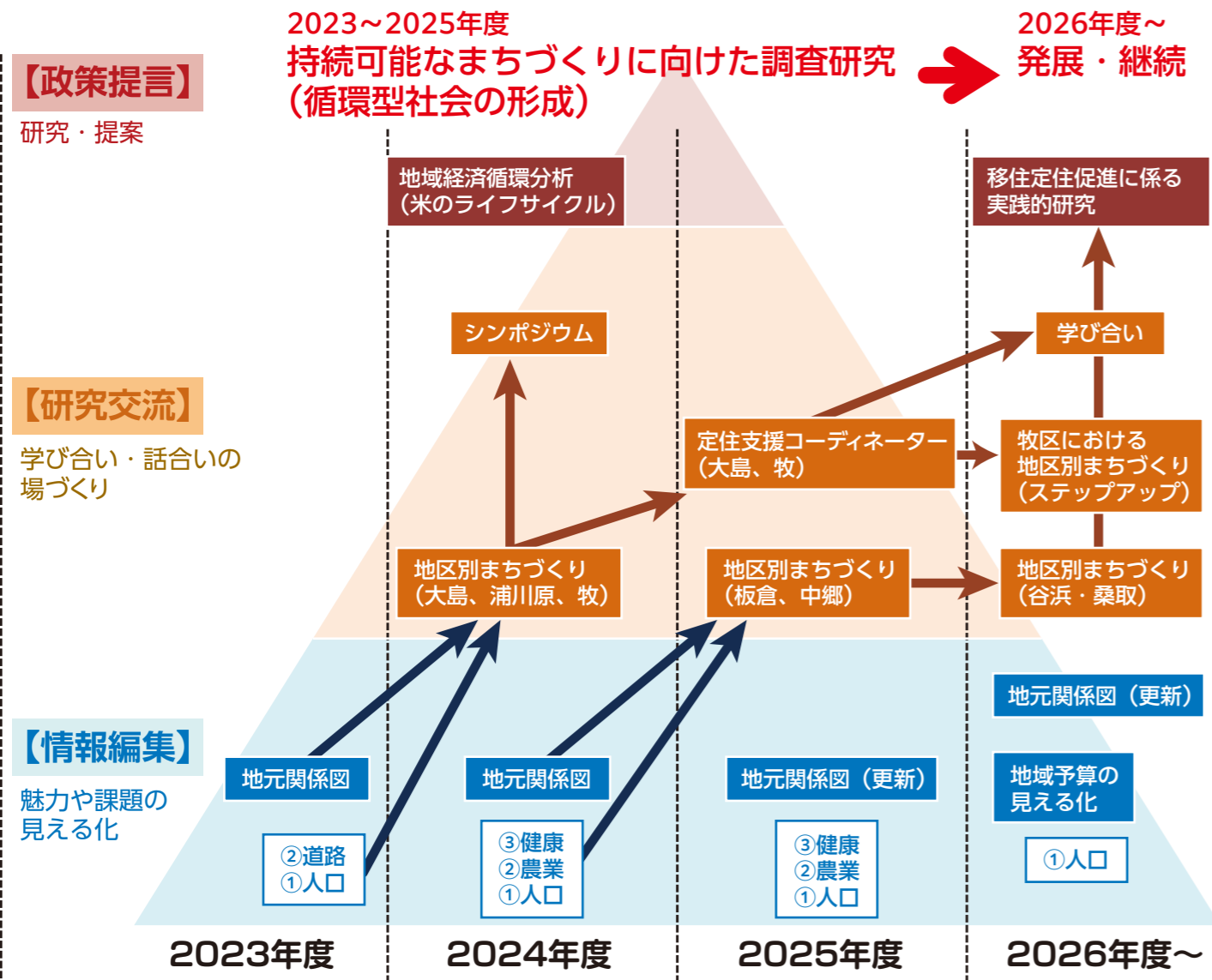


これまでの取組と2026年度以降の事業



2025年度は、人口や後期高齢者の医療費分析など多角的な視点から地域の現状を明らかにするとともに、地区まちワークショップや大学との連携による地元学など地域に根差した事業に取り組みました。これらの活動を通じて、各地区で多くの気づきや新たな取組の芽が生まれつつあります。当研究所では今後も、こうした成果を地域のまちづくりに活かすための調査研究や支援に継続して取り組んでまいります。



上越市創造行政研究所
所長 藤山 浩

上越市創造行政研究所

Annual Report 年次報告書

2025

上越市創造行政研究所 (上越市役所 総合政策部内)

住所 〒943-0804 新潟県上越市新光町1-8-11
 電話 025-526-3490
 メール souzou@city.joetsu.lg.jp
 Web <https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/souzou-gyosei/>



上越市創造行政研究所 プロフィール (2026年3月現在)

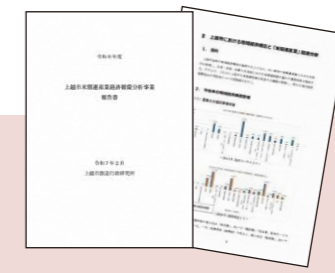
- 開設 2000年4月
- 設立趣旨 上越市創造行政研究所は、地方において、自分たちのことは自分たちで責任を持って決めていくという時代に対応するため、市の政策立案能力のさらなる向上を目指し、平成12年4月に当市独自のシンクタンクとして設立しました。
- 業務内容 人口をはじめとするデータベースの構築や、持続可能なまちづくりに向けた課題共有のための市民・職員向け勉強会やワークショップ、シンポジウムの企画・開催、調査研究などを行っています。現在は3つの柱に基づき、上越市のまちづくりをサポートしています。
- 職員 所長(藤山 浩)、副所長、研究員 3名、研究補助員 1名

上越市創造行政研究所 2025年度事業の取組紹介

STEP3 政策提言

学び合い、話し合いに役立つ情報を提供したり、その場で見えてきた課題の解決策を提言したりするために、地域活性化の様々な事例や仕組みに関する調査研究を行っています。また、必要に応じて、市役所の各課が取り組む事業の支援も行っています。

『米関連産業に関する地域経済循環分析の調査研究（2024年度）』
地域の持続可能性の現状を知るため、米関連産業の経済循環構造について、生産資材等の地域内調達や流通、消費実態の基礎調査を行いました。



STEP2 研究交流

定住促進に向けた地区ごとの研修会やワークショップ、シンポジウムなどを開催しています。テーマに応じて市民の皆さん、市の関係者、研究機関との共同研究や意見交換などを行い、まちづくりのきっかけづくりを行っています。

レゴブロックを使った中学生ワークショップ

東頸中学校と板倉中学校において、生徒たちが将来の理想的なまちを思い描き、それをレゴブロックを使って形にするワークショップを実施しました。



地区まちワークショップ

板倉区と中郷区において定住促進に向けた持続可能な地域づくりをテーマとした地区まちワークショップを開催しました。

板倉区



中郷区



地区まち交流会 in 板倉区

板倉区において、半年間かけて行ってきた地区まちワークショップの成果を「地区まち交流会」で発表しました。ヤングチーム、ベテランチームそれぞれが検討した移住定住促進に向けたアイデアを板倉区の住民を始め、多くの市民の方に共有しました。



その他研究交流

市内の高校や大学における授業支援のほか、講演会や研修を開催し、研究の成果を公表、活用しました。



地元学ワークショップ

地区まちの一環として、上越教育大学の学生と大島区で、新潟大学の学生と牧区で地元学ワークショップを実施しました。各地区の皆さんにもご協力いただきながら中山間地域の生活に根差した知恵や地域の魅力を掘り起こしました。

牧区



大島区



暮らしに関する話を聞きとったり、実際に体験させてもらったことを模造紙にまとめます。最後に地域の方々に発表することで、その地域の魅力に改めて気づききっかけになります。



研究所の取組紹介パネルや板倉中学校の1年生がレゴブロックを使って作成した未来の板倉区の展示も行いました。



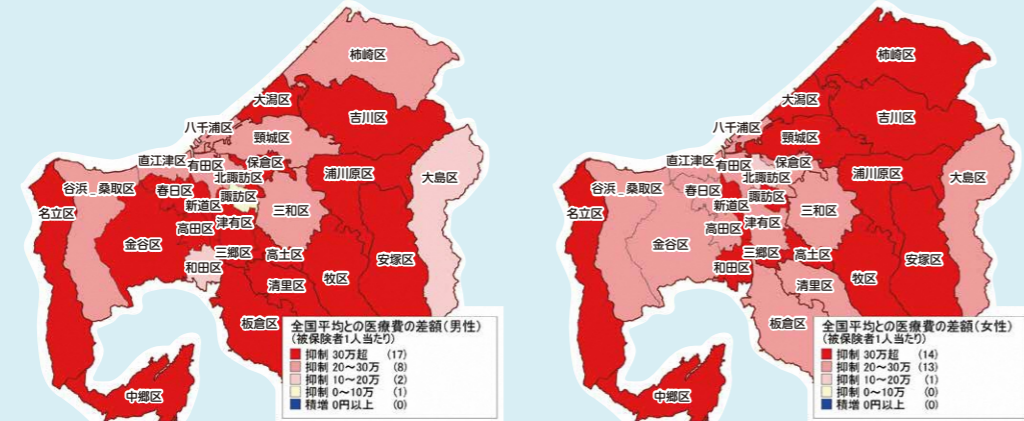
今年度定住支援コーディネーターとして牧区に配属された草野さん（左）、大島区に配属された加藤さん（右）からこれまでの活動報告や今後の展望を話しました。

STEP1 情報編集

地域みんなで共有するため、地域のあらゆるデータを見える化しています。「地域のこれから」を考えるには、まずはしっかり現状分析を行うことが重要です。

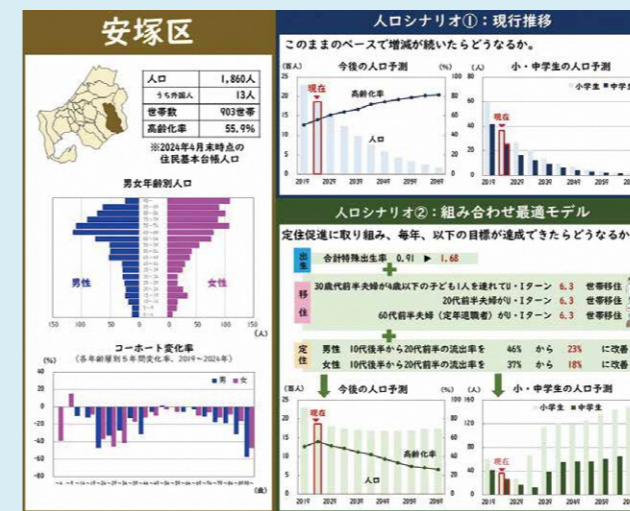
後期高齢者の医療費分析

基礎データの一つとして、2024年度の介護分析に引き続き、2025年度は医療費の分析を実施しました。市全体として医療費は比較的抑えられた状況にあり、地域差には入院の発生状況が関係している可能性があることが分かりました。



地区別データシート

地域の現状を知るための基礎データをまとめ、持続可能性を見る化し、それぞれの地域特性を生かしたまちづくりを進めることを目的に毎年作成しています。(画像は一部抜粋)



地元関係図

どのような組織、団体が地域内で活動しているのか、分野別、コミュニティ階層別に整理した図です。地域自治区ごとに作成し、地域の協力体制の検討に活用しています。

